

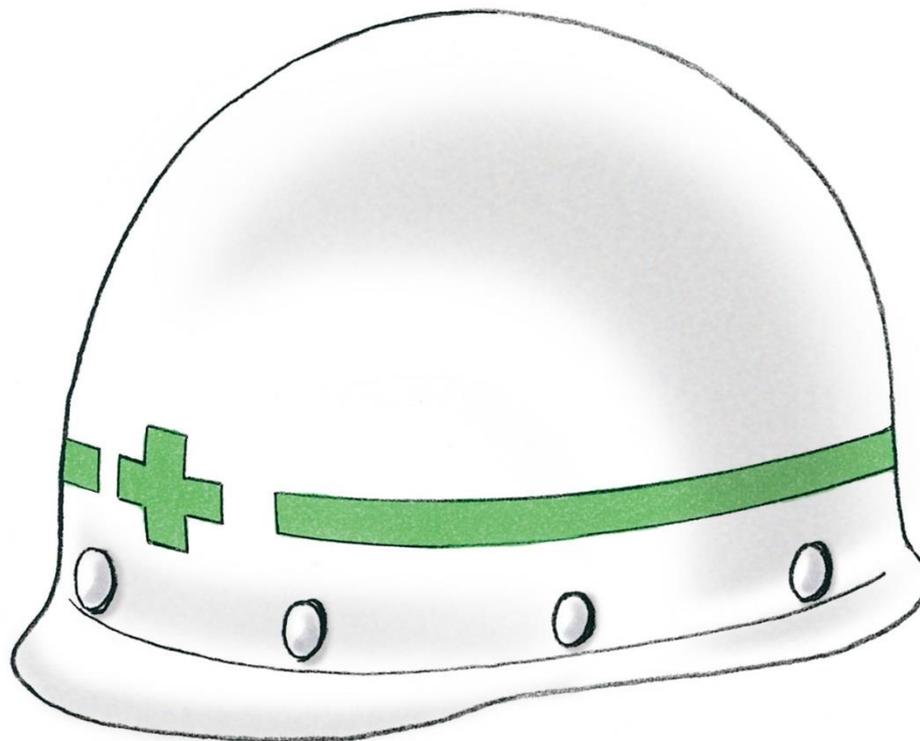
平成27年度厚生労働省委託事業

職業人のエッセンス・テキスト
「職場における安全の取り組み方」

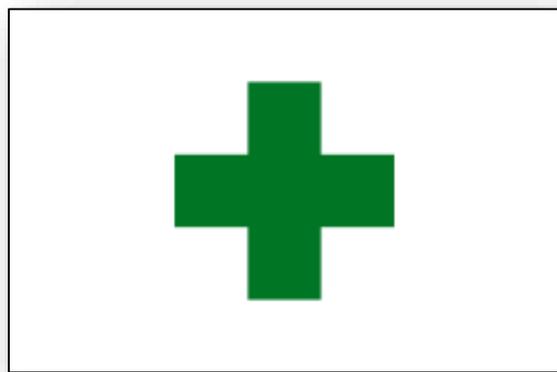
中央職業能力開発協会

2016/03

これを見たことがありますか？



「安全」の象徴で、「ミドリ十字」と呼んでいます。
これには2つの種類があるのです。



日本工業規格 (JIS Z9103-1986)

安全指導標識 (あんぜんしどうひょうしき) : 白地に緑色の十字を置いたもの。

衛生指導標識 (えいせいしどうひょうしき) : 緑地に白色の十字を置いたもの。

■ P-2 「ミドリ十字には2つの種類がある」

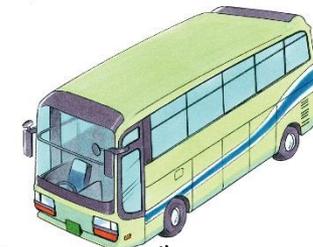
辞書における安全の意味

- ①安らかで危険がないこと
- ②物事が損傷したり、危害を受けたりするおそれがないこと

出典：広辞苑

ある事故

高速バスの事例

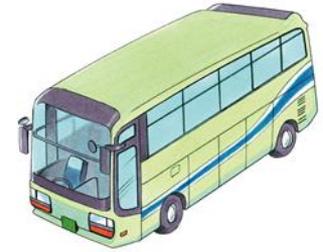


- 事故に遭ったツアーバスは、大阪府豊中市の旅行会社が主催する都市間ツアーバスで、千葉県印西市の貸切バス会社が運行していた。このツアーバスの金沢・富山 - 関東間の片道旅行代金は3,000円台で、同区間の高速路線バスの運賃の半分以下と格安であった。
- 2012年（平成24年）4月28日22時過ぎに金沢駅前を出発し、途中、富山県高岡市で乗客を乗せた。この時点でバスには新宿駅あるいは東京駅までの38人、東京ディズニーランドまでの7人、計45人の乗客と運転手1人のあわせて46人が乗っていた。そして翌4月29日4時40分頃、群馬県藤岡市岡之郷の関越自動車道上り線藤岡ジャンクション付近で防音壁に衝突。バスは大破して、46人全員が死傷した。7人が死亡し、2人が重体、12人が重傷、25人が軽傷を負った。
- 事故現場は片側3車線の緩やかな左カーブで、バスは道路左側のガードレールに接触し、そのまま高さ約3m、厚さ12cmの金属製の防音壁端面に車体正面から衝突した。全長12メートルのバスに防音壁が、あたかも突き刺さったかのような形で約10.5メートルめりこんだ。防音壁と直前区間にあるガードレールには10cmの隙間があり、このことが被害が拡大化した可能性があるとして指摘されている。
- 現場にブレーキ痕やスリップ痕は見つかっておらず、運転手は群馬県警に「居眠りしていた」と説明した。バスの速度計は92km/hを示した状態で止まっており、90 - 100km/h程度で衝突したと推定される。また、長期にわたって連続勤務を行うなど無理な体勢があったと指摘される。

事故の原因はどれでしょうか？

1. 一般乗客を輸送する作業の従事者としての**認識**が不足していたこと
2. 高速道路において時速100kmで居眠り運転という**危険な作業**をしていたこと
3. 無理な勤務を容認するなど**企業の体質**に問題があったこと
4. 運動**エネルギー**と人間が**接触**したこと





④企業風土、認識

③環境、状況、条件

②エネルギー

①人間

認識
意識
能力
特性

事故

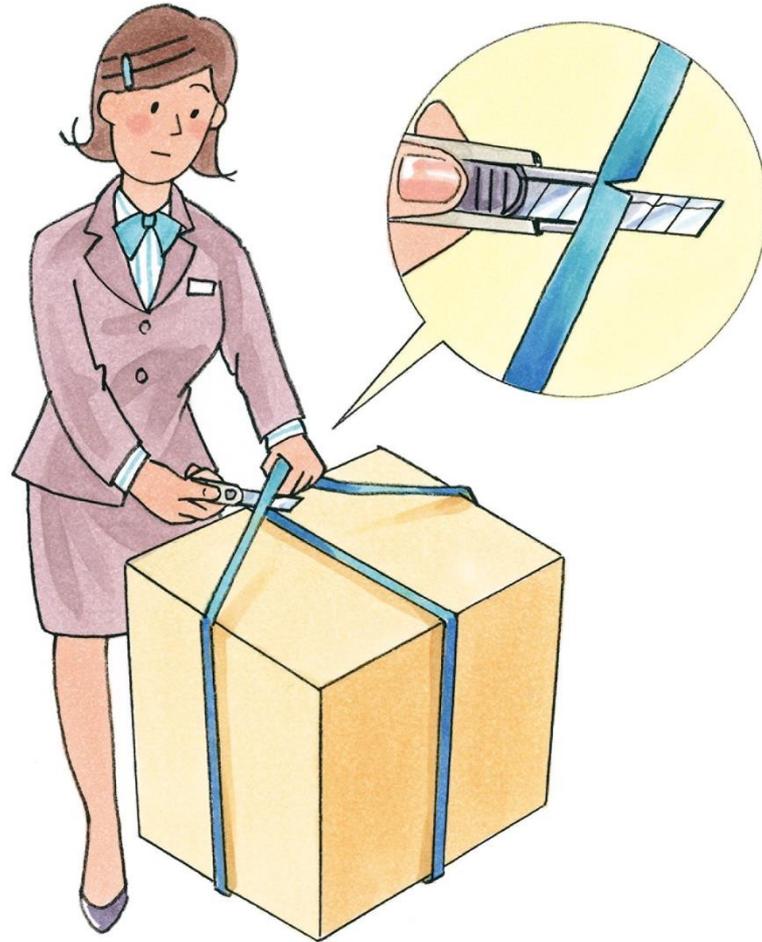
■ P-6 「何が問題なのか」

まとめ

1. 安全はみんなの願いだ。
2. 安全は自分自身で守り、創り出すことだ。

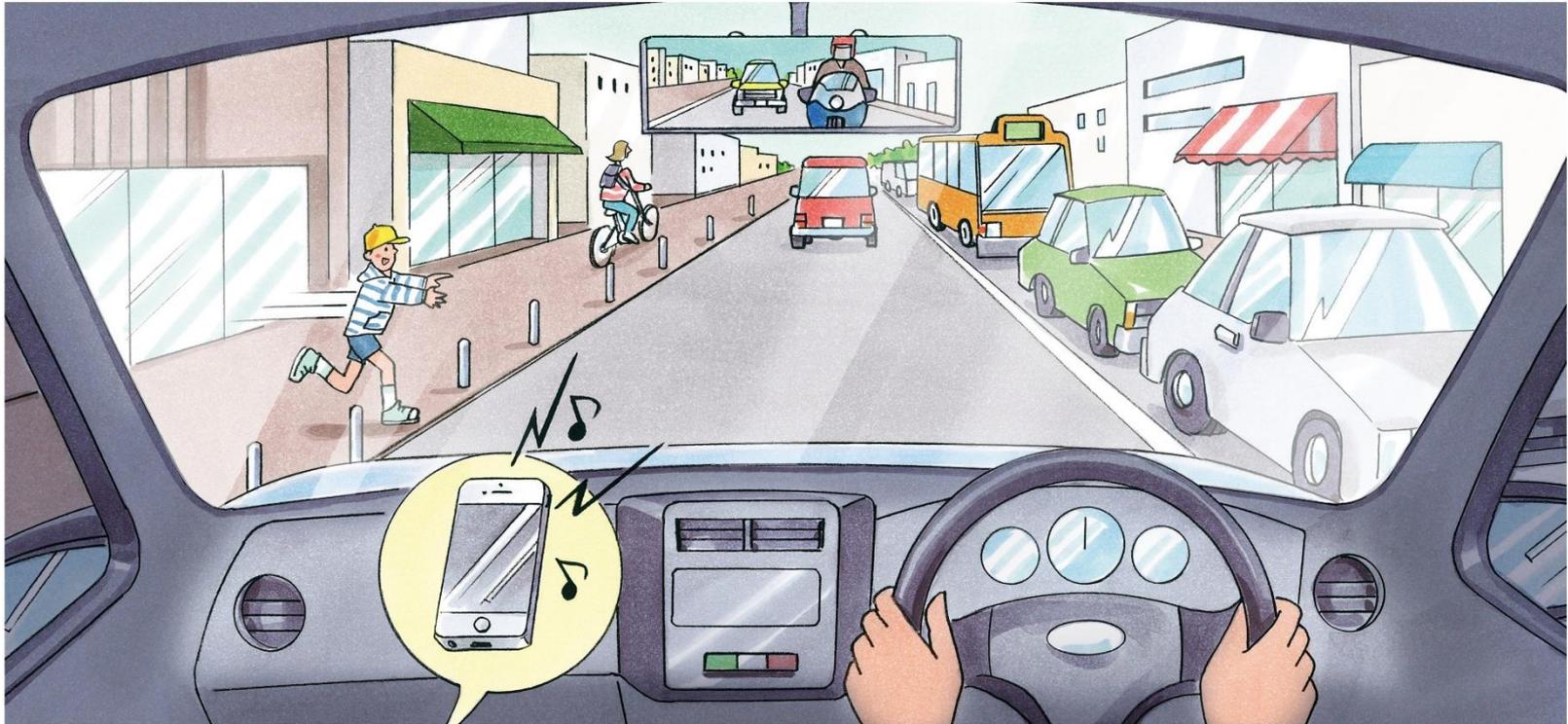
安全についてここで学びました
次のセッションで安全の練習をします

図の状況では何が予測できますか？

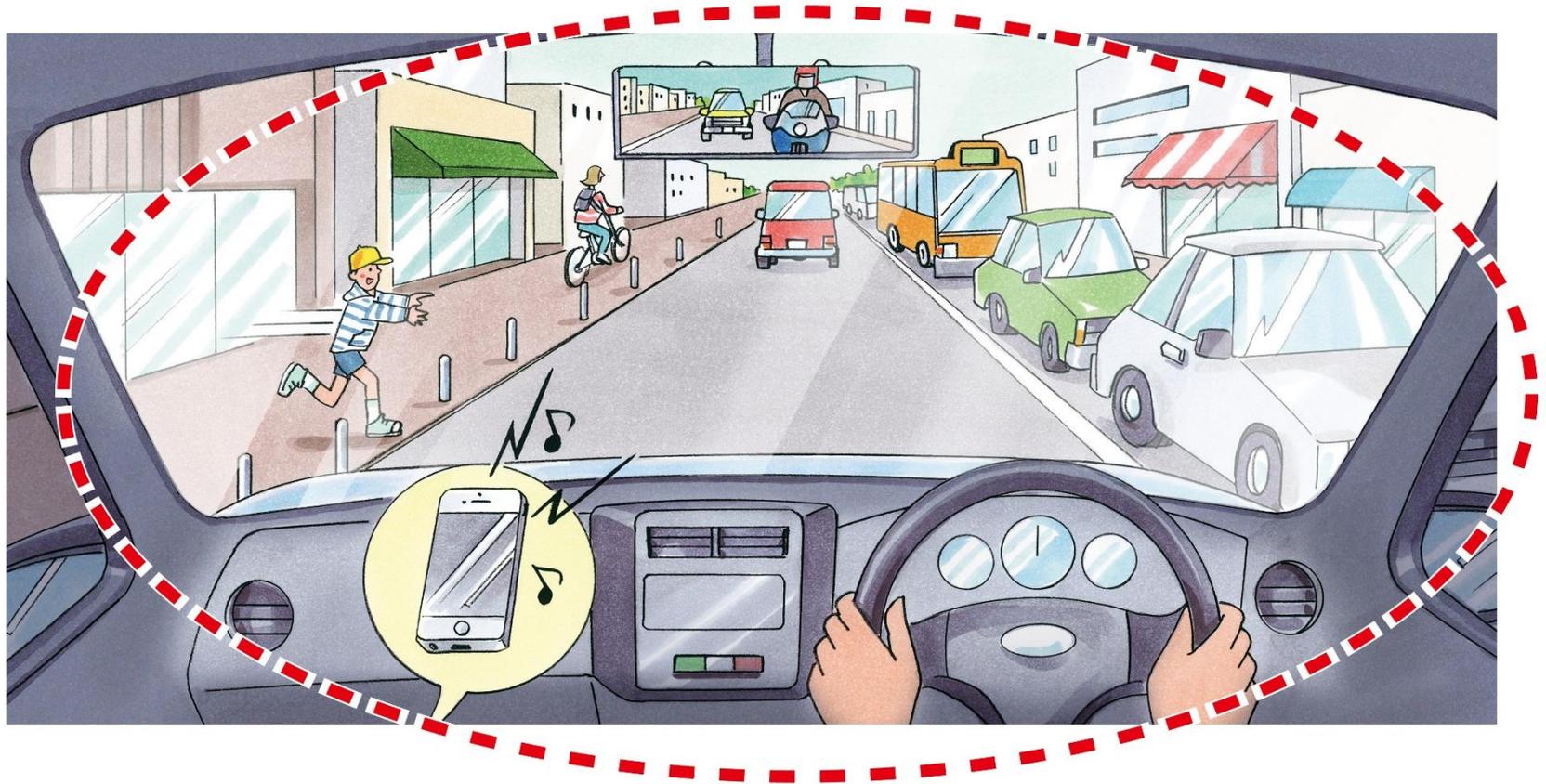


■ P-8 「カッターナイフ」

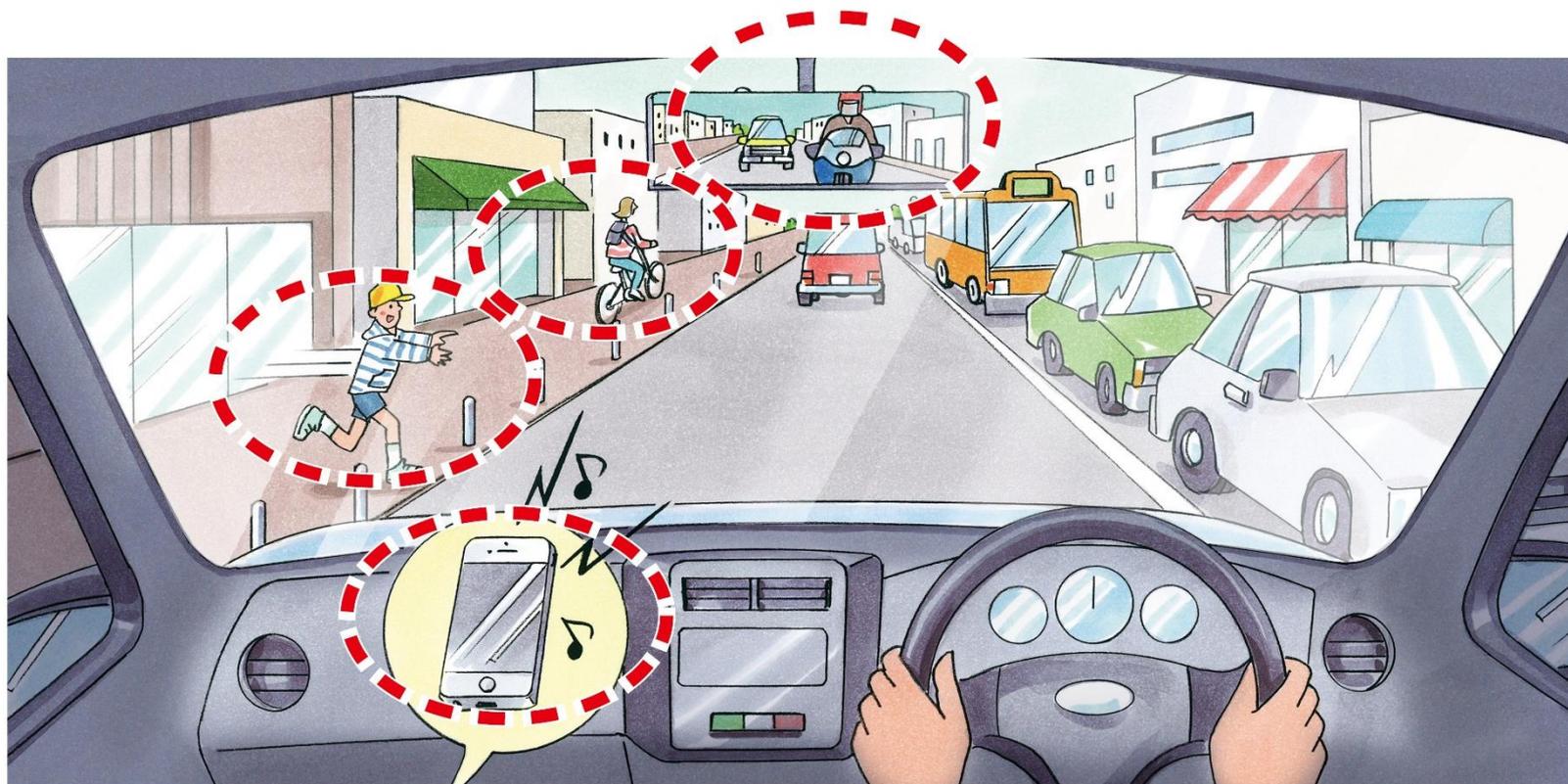
図の状況では何が予測できますか？



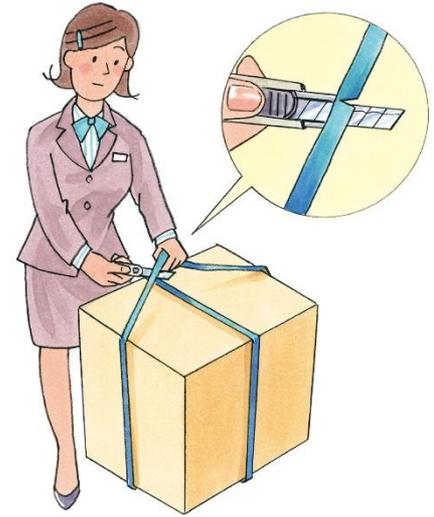
1.場面の全体状況をつかむ



2. 細かい情報、手がかりを探していく



危険の予測の仕方



1. 場面の全体の状況をつかむ
→何のために、どうしようとしているか
2. 細かい情報、手がかりを探す
→不自然なこと、怪しいことを見つける
3. 起きそうなことを、連想する
→これが起きると、次は・・・

組織で守る安全の取り組み

1. 安全を確保する道具、用具の開発と活用
2. 安全作業の設定と工夫（安全な作業手順）
3. 事故・災害が起こらない環境作り、職場作り
4. 安全教育の実施
5. 安全に関するイベント、コンクール

まとめ

1. 事故は起きてからでは何もできない。
2. 事故が起きない様に予防的に対処することが大切だ。

皆さんも仕事に就いたら、その職場での安全を
考えてみてください